

# ゆん・なんニュースレター

第44号 令和3年 7月 10日

まだ梅雨の最中で中休みですが、日中は夏の太陽で、外を歩くとギラギラした光を感じます。まだまだ続くマスク生活、嫌になりますよね～ 今年も蒸し暑い日本の夏が始まります。コロナに加えて熱中症対策も注意喚起とメールで流れてきていました。いつもながら、気の抜けない日々です。

ゆんたくの庭に梅の木に薄ピンクに色づいた梅の実が鈴なりにつきました。それもともと盆栽用の梅だったのを鉢ごと庭に置いたら鉢の下の土に根を張り出して、老木らしき幹から枝が出て今は1mほど伸びてきました。数にして25個以上の実は手間のかからないハチミツ漬けにしました。まだ漬けて4日目ですがエキスがだいぶ上がってきました。このぶんだと10日もしたら飲めそうです。喉によさそうでいいですよ。今月の楽しみのひとつです！



イギリスが拍手👏 国民保健サービスへの募金を集めた故人を称えて ワールドニュースより

イギリスは新型コロナウイルスの影響で最も甚大な被害を受けた国の一つで、つい先日までロックダウンが続いて暗いムードになっていました。

トム・ムーア大尉は、新型コロナウイルス感染症にかかったあと、2021年2月2日に病院で亡くなりました。この第2次世界大戦の退役軍人は100歳でした。それ以前の100歳の誕生日の少し前に、ムーアさんは自宅の庭を歩行器を使って何周も歩き始めました。(歩行器につかまって自分に庭を100周歩くことに挑戦し、インターネットで募金を呼びかけたのでした。)

100歳を目指すかのように少しずつ歩くムーアさんの姿に多くの国民が励まされ、勇気づけられました。当初の目標は、国民保健サービスで働く人たちのために1000ポンドを集めることでした。が、寄付金の額はなんと3200万ポンドあまり(日本円で約4.7億円)にのぼりました。

ボリス・ジョンソン首相は、ムーアさん追悼のために、一斉に拍手をして感謝の気持ちを表すことを全国に呼びかけました。「サー・トム・ムーア大尉は正真正銘のヒーローでした。」とジョンソン首相は述べました。

「彼は、イギリス国民を鼓舞しただけでなく、世界にとって希望の光となったのです。」



ムーアさんの贈り物(募金運動)が記憶され、称えられていることはすばらしいことですね！



## ゆんたくホームのゆんたくさびら (おしゃべりしましょう)

キッチンの棚の隅にある「梅のはちみつ漬け」を見つけたAちゃん、「これ、なんですか?」「庭の梅の蜂蜜漬けよ」答えると「美味しそう」と言って、瓶を眺めていました。クーラーで喉が痛くなった時などに重宝するかもと浮かびました。今年の夏もコロナでホーム皆でのお出かけは無理かなと思いますが、たまの外食は少しずつ緩和されてきてBちゃんの誕生日には、彼女のリクエストでお店選びをすることに。これが楽しみの二つ目。三つ目の楽しみはワクチンの二度目の接種。これが済むとコロナウイルスへの一応の予防策は終わりということです。マスクに手洗い、三密を避ける、はかかせませんが、無事に接種が終わったら、Bちゃんのバースディ食事会。全部で楽しみが三つある7月になりました!!!



## なんくるはなんくるないさ～ (なんとかなるよ～)



緊急事態宣言があけて学校の対面授業も始まったようです。コロナの影響で中々朝から学校などへ出かけることがなかったので、朝からバタバタと学校等へ行く様子を見ていると何だか懐かしくうれしくなります。朝から夜まで学校にバイトに忙しくしているのに、なんくるに帰ってくるとベッドにダイブしてしまうこともしばしば…(;ω;)それでも力を振り絞ってお風呂と夕食を済ませて、また翌朝から元気に出かけています! コロナもまだまだ気を付けられないといけません、今しかできない経験もたくさんあるので、学校などで楽しい思い出を作っておきたいと思っています♪



らいげつ 来月のキッチンゆんたくのご案内 あんない

2021年

8月19日 (第3木曜日) 開催 かいさい

よてい 予定メニュー：さらにおいしくなった

ゆんたくカレー&サラダ ♪



7月のキッチンゆんたく

メニュー

・ゆんたくカレー&ぎょうざ

こんねんど すこ かいしよく さいかい  
今年度から少しづつ会食を再開したい  
おも  
と思っていたのですが。🙄 ザンネン！  
ひ つづ  
引き続きテイクアウトです！

夕方5：30～なくなり次第終了 しだいしゅうりょう

☆子ども…50円/大人…100円 えん

マイバッグ、持ってきてくださいね～！ も

**Thanks**

きんりん かいしゃ さま きんいっぽう  
近隣の会社K様より金一封をいただきました。

フードバンク京都様よりお米、お菓子、ソース、コーン缶をいただきました。 かん

また、近隣のK様・I様より玉ねぎをたくさんいただきました。 たま

みなさま 皆様いつもありがとうございます。

Thanks ♪



かみしばい えほんしょうかい  
紙芝居・絵本紹介

『ぶたばあちゃん』

マーガレット・ワイルド (文) ぶん

ロン・ブルックス(絵) 今村葦子 (訳) やく

<あらすじ>

ぶたばちゃんと孫娘は、ずっと長い間一緒に暮らしてきました。二人は何もかも、仕事まで分け合っていました。でも、ある朝、ぶたばちゃんは、普段どおり起きてきません。「なんだか、くたびれちゃって」と、ばあちゃん。そんなこと今までなかったのに。孫娘が朝ごはんを運んでいったときもお昼ごはんのときも、晩ごはんのときもばあちゃんは眠り続けました。そして次の朝、ばあちゃんはまだなおっていないのに起きてきて言いました。「今日は忙しくなるよ。わたしはしたくをするんだからね」「なんのしたく？」孫娘が聞いても返事をせず、出かけていきました。今日のこの日を、ぶたばちゃんと孫娘は、どのようにすごしたのでしょう？

ぶたばちゃんと孫娘のさよならの日々をつづった、心あたたまるオーストラリアの絵本。愛らしいブタというキャラクターが、「死」という重いテーマをポジティブに描きます。生きること、愛すること、与えること、受けること……。逝きつつあるぶたばあちゃんと、いまを生きる孫娘のやさしい笑顔が「生」の喜びをそのまま伝えます。絵の素敵さも胸にしみ、何とも言えない余韻が残るお話です。